はじめに

夢を語れ 愛を悟れ
総合型選抜試験は、未来へのラブレター

○ 大学の「アドミッション・ポリシー」とあなたが描く「学びの在り方」がマッチすることが大切です。

総合型選抜では、志望理由書をはじめとした出願書類や面接試験、プレゼンテーション、グループディスカッションなどを通して、あなたが志望先を選択した理由を大学側に伝えることが求められます。したがって、選抜のための材料として用いられることを念頭に置かなければなりません。入学者の受け入れ方針（「アドミッション・ポリシー」などと呼ばれています）と、あなたが描く大学での「学びの在り方」が合致することが必要です。

○ 大学は、あなたの「本気」を見ています。

さまざまな大学のアドミッション・ポリシーを読むと、おおまかに「志望する学部・学科での学びに関する強い興味・関心があること」「その大学を第一志望とする人物であること」という内容に大別できます。つまり、大学側は総合型選抜を通して、あなたが本気で大学で学ぼうとしているのかを見ているということに他なりません。本当に学問に向かい合えるのか、慎重にチェックしているのです。

○「志望学部・学科」と「志望先の選択理由」を深掘りする必要があります。

大学は研究機関（いまだに解明されていない事象や法則を、学問的な観点から解き明かす場）です。総合型選抜はそうした研究者のコミュニティに入れてよいか否かを試す「イニシエーション（通過儀礼）」です。その際、学びへの強い意欲があるか否かを問われますし、学部・学科のマッチング度合いも確認されます。特に前者は「意欲の現れ方」が問われます。さまざまな経験を通して、何を問い、どういう学問を通して、その謎を解き明かしたいのか。事象を丁寧に見つめ、それらを深掘りし、大学で学問する意味を紡ぐことが大切です。私とともに、一歩ずつ前に進んでいきましょう！

神﨑 史彦

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	備考
はじめに	1P					
Contents	2P					
受講の流れ	3P					
第1講 総合型選抜とは何か	5P I 22P	総合型選抜の定義	総合型選抜で問われる力	何を準備すべきか	いつ準備すべきか	
第2講 探究と研究の違い	23P I 32P	探究とは何か	研究とは何か	大学で学ぶ意味が問われる	自己×世界×学問=未来づくり	
第3講 志望校の定め方	33P I 44P	危うい「大学の選択理由」とは	why（大学進学の目的）を決めよう	how（目的実現のための学問）を探ろう	what（個別の大学選択）を定めよう	
第4講 先輩たちの大学合格への歩み方	45P I 52P	法学部に合格した先輩の場合	外国語学部に合格した先輩の場合	工学部に合格した先輩の場合	来てほしい未来をつくる	
おわりに	53P					
付録1 志望理由整理分析シート	54P					
付録2 志望校調査シート	55P					

本講座の学習の流れ

受講前

POINT
- 基本的には予習は不要です。

↓

受講

POINT
- 動画を観ながら必要な板書は左ページに書き込みましょう。
- 大事なポイントや自分なりに考えたことは
  右ページの生徒メモ欄にメモしておきましょう。
- 適宜動画を止めたり、動画のスピードを変えても構いません。

↓

受講後

POINT
- 付録1の『志望理由整理シート』を使って、
  志望理由を自分なりに整理してみましょう。
- 付録2の『志望校調査シート』を使い、
  インターネットで志望校の入試情報を調べ、表にまとめましょう。
- 第3講では右ページに原稿用紙のマス目を準備していますので、
  このシートをまとめた内容をもとに、
  志望理由書を書いてみるのもよいでしょう。
  (志望校の要項で求めらていれる字数等の条件を確認して、
  その条件に合わせてマス目を使ってください。)

学校の先生との面談で

POINT
- 各講で学んだこと・考えたことや、
  付録でまとめたシートを面談に持ち込んで、
  先生にご指導をいただいても良いでしょう。

総合型選抜対策講座シリーズ　受講の流れ

試験形式に関わらず、受講推奨

総合型選抜対策講座 <スタートアップ編>	総合型選抜とは何か、どんな事が求められるのかといった前提知識を学びたい時や、志望校や志望理由を決める時に迷っている場合におすすめです。
総合型選抜対策講座 <出願書類作成編>	志望理由書、または自己アピール文を 書く際に必要な要素や考え方を学びたい時におすすめです。また、巻末資料に自己採点の参考になる評価基準も付いているので、書き上げた書類を見直す際にも参考にしてください。

↓

各自の試験形式に合わせて、必要な講座を選択した上での受講を推奨

総合型選抜対策講座 <事前課題型小論文編>	事前課題型小論文とは、事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いられたりする形式です。作成の際に注意したいポイントを学びたい時におすすめです。
総合型選抜対策講座 <面接編>	面接を受ける際の準備や心構え、頻出質問例などを学びたい時や、模試面接の様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。
総合型選抜対策講座 <プレゼンテーション編>	プレゼンテーションを行う際の準備や心構え、表現方法例などを学びたい時や、模試プレゼンの様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

第1講

総合型選抜とは何か

チャプター1

総合型選抜の定義

書き込んでみよう

○ 総合型選抜とは

＿＿＿＿ と ＿＿＿＿ 等を組み合わせることによって，入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合的に評価・判定する入試方法。

この方法による場合は，以下の点に留意する。

1.入学志願者自らの意志で出願できる公募制という性格に鑑み，「見直しに係る予告」で示した入学志願者本人の記載する資料*を積極的に活用する。

*資料＝入学志願者本人が記載する ＿＿＿＿ ，＿＿＿＿ 及び ＿＿＿＿

2.総合型選抜の趣旨に鑑み，合否判定に当たっては，入学志願者の ＿＿ ・ ＿＿ ・ ＿＿ 等を多面的・総合的に評価・判定する。なお，高度な専門知識等が必要な職業分野に求められる人材養成を目的とする学部・学科等において，総合型選抜を実施する場合には，当該職業分野を目指すことに関する入学志願者の意欲・適性等を特に重視した評価・判定に留意する。

3.大学教育を受けるために必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力も適切に評価するため，調査書等の出願書類だけではなく，「見直しに係る予告」で示した評価方法等*又は大学入学共通テストのうち少なくともいずれか一つを必ず活用し，その旨を募集要項に記述する。

*「見直しに係る予告」で示した評価方法等＝ ＿＿＿＿ ，＿＿＿＿ ，＿＿＿＿ ，＿＿ ，＿＿＿＿ ，＿＿＿＿ 。

『令和3年度大学入学者選抜実施要項』https://www.mext.go.jp/content/20210208-mxt_daigakuc02-000005144_03.pdf（文部科学省）

生徒メモ欄

教員記入欄

書き込んでみよう

○ 学校推薦型選抜とは

出身高等学校長の推薦に基づき，調査書を主な資料としつつ，以下の点に留意して評価・判定する入試方法。

1　大学教育を受けるために必要な［　　　］，［　　］，［　　］，［　　］も適切に評価するため，高等学校の学習成績の状況など調査書・推薦書等の出願書類だけではなく，［　　　］［　　　　　　　　］又は［　　　　　　］のうち少なくともいずれか一つを必ず活用し，その旨を募集要項に記述する。

2　推薦書の中に，入学志願者本人の［　　］や［　　］を踏まえた第1に示す三つの要素に関する評価や，生徒の努力を要する点などその後の指導において特に配慮を要するものがあればその内容について記載を求める。

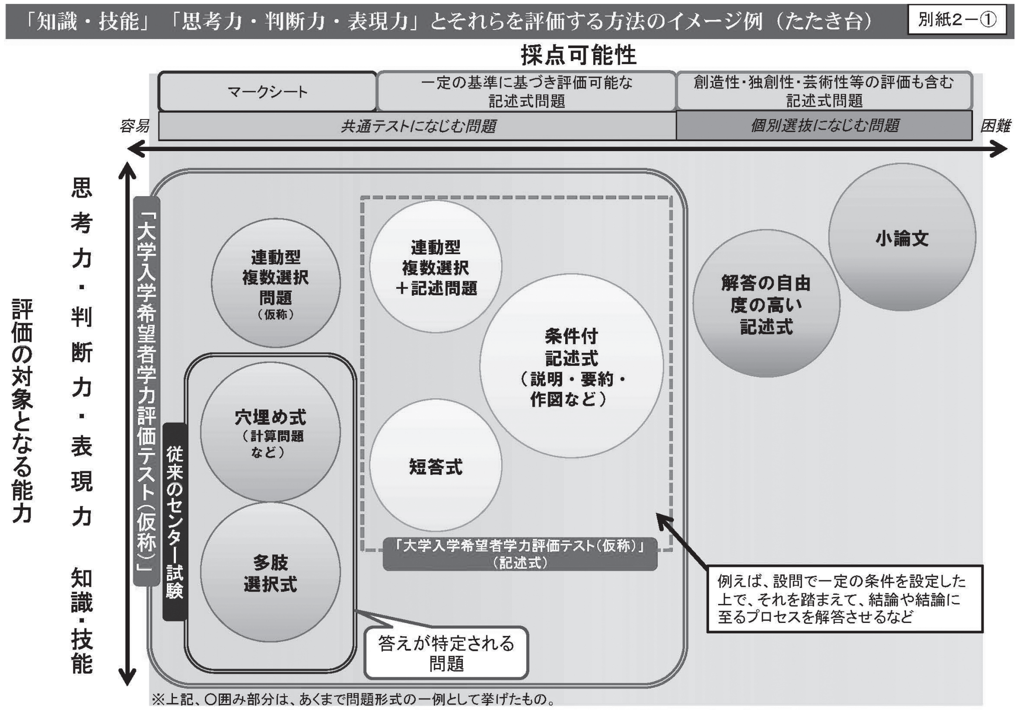
生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

総合型選抜で問われる力

○「知能・技能」「思考力・判断力・表現力」とそれらを評価する方法のイメージ



『「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」とそれらを評価する方法のイメージ例（たたき台）』
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/033/shiryo/__icsFiles/afieldfile/2015/12/22/1365554_03_1.pdf（文部科学省）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

何を準備すべきか

書き込んでみよう

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

生徒メモ欄

教員記入欄

資料を見てみよう

○ 資格・検定試験の成績

●英語4技能対策の入試の例　立教大学　経営学部　自由選抜入試

経営学科
国際経営学科
経営学部全体で
方式A
資格Ⅰ 10名程度
資格Ⅱ 10名程度
資格Ⅲ 20名程度

次の1～3の条件をすべて満たす者。

1．次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。
(a) 2021年4月から2022年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が資格Ⅰについては3.8以上のもの。資格Ⅱおよび資格Ⅲについては4.0以上の者。
(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。

2．本学経営学部(経営学科、国際経営学科)での勉学に強い意欲を持つ者。

3．経営学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅲのいずれかに該当する者。
国際経営学科においては、次の資格Ⅲに該当する者。

［資格Ⅰ］次の(a)・(b)の条件をすべて満たす者。
(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野において、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めた者。
団体競技の場合には、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めたチームで、レギュラーまたはそれに相当する選手として活躍した者もしくは主将など指導的役割を果たした者。
なお、2020年4月以降の実績については、全国レベルの大会が開催されていないことに鑑み、都道府県レベルの大会で優秀な成績を収めた者。
団体競技の場合には、都道府県レベルの大会において、優秀な成績を収めたチームでレギュラーまたはそれに相当する選手として活躍した者もしくは主将など指導的役割を果たした者も含むこととする。
(b) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。
▶利用できる英語資格・検定試験については、詳細を別途参照すること。
① ケンブリッジ英語検定120点以上
② 実用英語技能検定［英検］1,700点以上
③ GTECスコア960点以上
④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上
⑤ TEAPスコア135点以上
⑥ TEAP CBTスコア235点以上
⑦ TOEFL iBTスコア42点以上
⑧ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア625点以上(いずれもIPテスト可)
※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。
※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

［資格Ⅱ］次の(a)～(d)のいずれかに該当し、かつ(e)に該当する者。
(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、プレゼンテーション、ディベートなど)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。
なお、2020年4月以降の実績については、全国レベルの大会が開催されていないことに鑑み、都道府県レベルの大会で優秀な成績を収めた者のうち、その活動団体において指導的役割を果たしたものも含むこととする。
(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程のその他の課外活動の分野において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。
(c) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、ボランティア活動、校外活動の団体において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。
(d) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、日商(日本商工会議所)簿記1級を取得し、校内の活動において指導的な役割を果たした者。
(e) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。
▶利用できる英語資格・検定試験については、詳細を別途参照すること。
① ケンブリッジ英語検定スコア140点以上
② 実用英語技能検定［英検］スコア1,950点以上
③ GTECスコア960点以上
④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上
⑤ TEAPスコア225点以上
⑥ TEAP CBTスコア420点以上
⑦ TOEFL iBTスコア42点以上
⑧ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト可)
※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。
※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

［資格Ⅲ］次の(a)～(i)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。
▶利用できる英語資格・検定試験については、詳細を別途参照すること。
(a) ケンブリッジ英語検定スコア160点以上の成績を取得している者。
(b) 実用英語技能検定［英検］スコア2,300点以上の成績を取得している者。
(c) GTECスコア1,190点以上の成績を取得している者。
(d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上の成績を取得している者。
(e) TEAPスコア309点以上の成績を取得している者。
(f) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。
(g) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。
(h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。
(i) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例：英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会)で極めて優秀な成績を収めた者。
※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。
※ (a)～(h)については出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

こちらは2022年度入試要項です。制度変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項を確認しましょう。

https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/free_selection.html

生徒メモ欄

教員記入欄

資料を見てみよう

○ 資格・検定試験の成績

●英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（平成30年3月）」より令和元年８月作成

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定 英検 CBT：準１級-3級 英検2020 1day S-CBT：準1級-3級 英検2020 2days S-Interview：1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2	230-200			9.0-8.5			
C1	199-180	3299-2600	1400-1350	8.0-7.0	400-375	800	120-95
B2	179-160	2599-2300	1349-1190	6.5-5.5	374-309	795-600	94-72
B1	159-140	2299-1950	1189-960	5.0-4.0	308-225	595-420	71-42
A2	139-120	1949-1700	959-690		224-135	415-235	
A1	119-100	1699-1400	689-270				

ケンブリッジ英語検定 各試験CEFR算出範囲：C2 Proficiency (230)-(180)、C1 Advanced (210)-(160)、B2 First / for Schools (190)-(140)、B1 Preliminary / for Schools (170)-(120)、A2 Key / for Schools (150)-(100)

実用英語技能検定 各級CEFR算出範囲：1級 (3299)-(2304)、準1級 (2599)-(1980)、2級 (2299)-(1728)、準2級 (1949)-(1400)、3級 (1699)-
各級合格スコア：1級 2630、準1級 2304、2級 1980、準2級 1728、3級 1456

GTEC 各試験CEFR算出範囲：CBT (1400)-、Advanced (1280)-、Basic (1080)-、Core (840)-(270)

□は各級合格スコア　※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。
※ 障害等のある受験生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。
※ 実用英語技能検定における「英検2020 2days S-Interview」については、合理的配慮が必要な障害等のある受験者のみを対象としている。「英検CBT」については、準１級も参加試験として追加（2019年8月23日）。
※ TOEIC® Listening & Reading TestおよびTOEIC® Speaking & Writing Tests（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）は2019年7月2日に参加申込みを取り下げたため、記載していない。

こちらは平成30年度時点の情報です。変更の可能性もるので、必ず最新情報を確認しましょう。

『大学入試英語成績提供システム参加予定の資格・検定試験とCEFRとの対照表』
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/koudai/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/09/25/1420500_3_2.pdf（文部科学省）

生徒メモ欄

教員記入欄

資料を見てみよう

○ コンテスト等の実績例1

●慶應義塾大学　総合政策学部･環境情報学部　AO入試

1 次選考免除申請について

出願資格に加えて，以下の表にあるコンテストについて所定の成績をおさめ，そのことを証明する書面を提出することができる者について，1 次選考を免除します。申請希望者は，提出書類に，1 次選考免除対象コンテストの所定の成績をおさめたことを証明する書面（厳封されたもの）を添えて，申請してください。

ただし，1 次選考免除申請は，総合政策学部・環境情報学部のいずれかの学部で 1 回限りとします（また，複数のコンテストで所定の成績をおさめている場合も申請は 1 回限りとします）。過去に AO 入試 1 次選考免除申請をして出願を受理された者，および過去に実施した AO 入試の C 方式で出願した者は申請できません。

（例 1．2023 夏秋 AO に総合政策学部へ出願。1 次選考免除申請し，出願が受理された場合
→　2024 春 AO 以降の AO 入試において，環境情報学部へ出願の場合も，1 次選考免除申請はできません。）
（例 2．2023 夏秋 AO に「高校生バイオサミット in 鶴岡」に入賞。1 次選考免除申請し，出願が受理された場合
→　他のコンテストで所定の成績を収めても，2024 春 AO 以降の AO 入試において，1 次選考免除申請はできません。）

1 次選考免除対象コンテストの所定の成績

・「対象コンテスト」および「所定の成績」は毎年見直しを行い，変更することがあります。コンテストの名称変更等，不明な点があれば出願前にアドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

対象コンテスト（＊慶應義塾関連）	所定の成績
小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト＊	小泉信三賞受賞者（次席・佳作は除く）
三田文学新人賞＊	最終候補者
日本数学オリンピック	予選Ａランク者
高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）	最終審査進出者
化学グランプリ	1 次選考通過者
日本生物学オリンピック	予選（旧：1 次選考）通過者
全国物理コンテスト　物理チャレンジ	第 2 チャレンジでの金・銀・銅，他各賞（奨励賞は除く）受賞者
日本情報オリンピック	本選Ａランク者
日本地学オリンピック	金賞受賞者
科学地理オリンピック日本選手権	金メダル受賞者
日本学生科学賞　物理，化学，生物，地学，広領域	地方審査通過者
日本学生科学賞　情報・技術，応用数学	中央予備審査通過者
情報処理推進機構　未踏 IT 人材発掘・育成事業	最終採択者
一般社団法人未踏　未踏ジュニア	未踏ジュニアスーパークリエータ認定者
ファブ 3D コンテスト	入賞者
全国高校生マイプロジェクトアワード	文部科学大臣賞，マイプロジェクトアワード特別賞，ベスト・オーナーシップ賞，ベストコ・クリエーション賞，ベスト・ラーニング賞
高校生ビジネスプラン・グランプリ	グランプリ，準グランプリ，審査員特別賞，優秀賞受賞者
全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト（第 3 部）	最優秀賞受賞者
実用フランス語技能検定試験	「1 級」合格者のうちの「成績優秀者」 「準 1 級」合格者のうちの「成績優秀者」
福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会＊	最優秀賞受賞者
高校生バイオサミット in 鶴岡＊	入賞者（審査員特別賞は除く）

注意 1：上記は全て個人での受賞のみを対象とする（グループやチームで受賞したものは対象外です）。
注意 2：中学校卒業以降から AO 入試出願に至る期間での受賞のみを対象とする。

こちらは2024年度入試要項です。制度変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項を確認しましょう。

https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/docs/sfc_2024spring_guide.pdf

生徒メモ欄

教員記入欄

資料を見てみよう

○ コンテスト等の実績例2

●電気通信大学　情報理工学域　総合型選抜

Ⅰ類
プログラミング・デジタルものづくり・データ分析等の情報技術に関するアルゴリズム・制作物・解析手法等をまとめた特別活動レポート（本学実施のUECスクールや他大学でのスクーリング・セミナー参加、および科学系コンテスト等での実績を含む）。

Ⅱ類：次の（1）および（2）の両方
（1）UECスクール（本学実施）や他大学でのスクーリング・セミナー参加、理学・工学・情報学の基礎となる分野における国内外で開催される各種コンテスト（a）、学外研究発表会等における活動実績、各種資格（b）、の一覧と内容紹介
（a）科学の甲子園、ロボカップジュニアジャパン等の各種コンテスト
（b）情報処理安全確保支援士、アマチュア無線技師、電気工事士等の各種資格
（2）自己PR動画3分以内（成果物の紹介、実演、自己PR 等）

Ⅲ類：次の（1）および（2）をそれぞれまとめたもの。
（1）UECスクール（本学実施）や他大学でのスクーリング・セミナー参加、科学系オリンピック、学外研究発表会等の活動実績の一覧と内容の紹介
（2）高等学校等での理工学に関する代表的な研究の内容。関連する基礎的な原理・法則・応用などを含めて、研究方法と結果を説明すること。図表や式を含めてもよい。

こちらは2022年度入試要項です。制度変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項を確認しましょう。

https://www.uec.ac.jp/admission/ie/exam_sogo.html

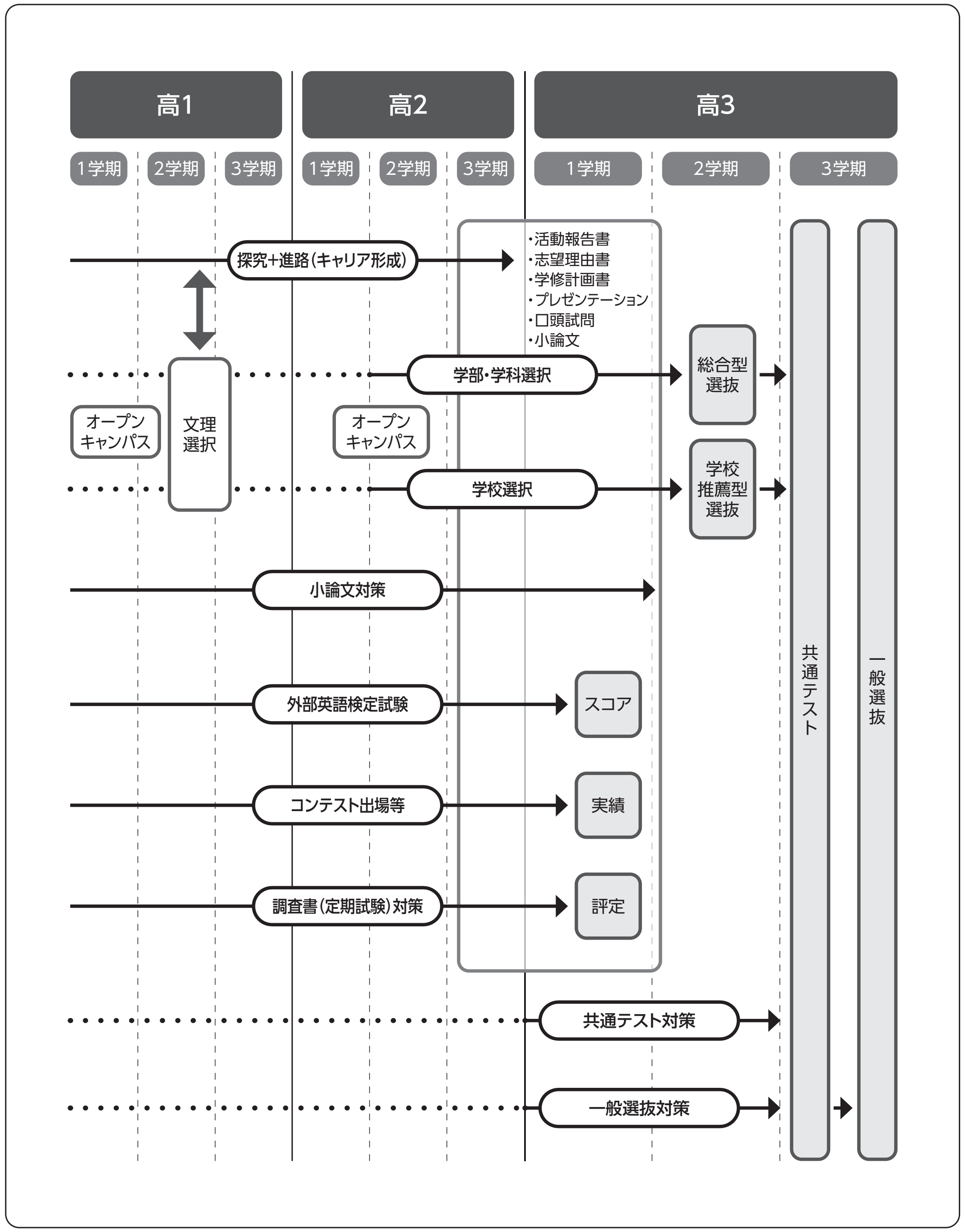
生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

いつ準備すべきか

◯時期とやるべきこと



生徒メモ欄

教員記入欄